

「農」イノベーションひょうごの推進

目的

異業種連携による県産農林水産物の新たな価値の創造

- 農林漁業者と様々な分野の事業者や研究機関が、交流や日常的に情報交換を行うことができる環境を構築
- 異業種連携によりイノベーションを誘発し、県産農林水産物を活用した、これまでにない新商品・新サービスの開発や、大きなスケールの創造的な事業展開を促進

交流・連携の環境づくり

運営体制

「農」イノベーションひょうご推進協議会（平成26年5月15日設立）
 会長：兵庫県農政環境部長
 副会長：兵庫県農業協同組合中央会、（一社）兵庫県食品産業協会、
 国立大学法人神戸大学

会員募集

参加

【会員数】666（H30.3.2現在）

- ① 農林漁業者、② 食関連事業者
- ③ 他産業事業者、④ 研究機関
- ⑤ 支援機関（地域金融機関、商工団体、地方自治体等）



平成30年度 「農」イノベーションひょうごの取組

《1階部分》—情報交換と会員間の交流を促進—

1 異業種交流の推進

新たな出会いや異業種連携を生み出す会員相互の交流を促進

(1) 交流・連携を促進するためのプログラム実施

区分	内容（開催計画）
① 全体交流会 	協議会会員全員に呼びかけ、前年度の活動成果発表や異業種連携の場となる交流会を実施（年1回）
② 各種セミナー等 	① 県内農林水産業が抱える課題をテーマとして実施（年2回） ② 異業種連携による新商品、新サービス等の開発等を目指して実施（年3回）

(2) 日常的に会員間で情報交換等できる環境の整備

- ① 協議会HPによる情報発信
〔協議会概要、セミナー等の実施案内等〕



- ② 会員専用SNSサイトによる相互交流の促進
〔会員情報、セミナー案内・参加申込、プロジェクト掲示板等〕



連携から生まれた個別のプロジェクト

《2階部分》—異業種連携による取組の推進—

2 プロジェクトの推進

セミナー、その他の協議会活動から生まれた「連携の芽」を事業化に導くため下記の取組を実施

(1) プロジェクトサポート相談会の実施

各種活動から生まれたプロジェクトの事業化に向け、プロジェクトが抱える課題を総括的に支援するプロジェクト相談員を複数名配置し、継続的な相談会を実施



(2) 専門家派遣（6次産業化プランナーの派遣を含む）

プロジェクト相談員のコーディネートのもと、各プロジェクトの事業化に向け必要となる専門的知識や技術を有する専門家を派遣

の取組を誘導

3 研究開発プロジェクト支援

異業種交流やプロジェクト調査・検討で生まれた企画を具体化していく中で必要な技術開発を支援

○調査研究への経費助成

県産農林水産物の新たな価値を創出する新技術等の開発に必要な経費に対し補助金を交付

先導的研究開発（1,000千円/課題）年3件

本格的な研究開発（3,000千円/課題）年3件

《3階部分》—新たなビジネスへの展開—

4 新ビジネスの創出に向けた支援

異業種交流やプロジェクト調査・検討で生まれた企画や研究開発プロジェクトの成果をもとに、異業種間の連携による新たなビジネス活動の展開を支援

○国交付金を活用した支援

6次産業化ネットワーク活動交付金を活用した支援（推進事業、整備事業）

○既存施策の活用

- ・農林漁業成長産業化ファンド(A-FIVE)やサブファンドなどを活用し、新たなビジネス活動を支援
- ・農商工連携ファンド補助金（ひょうご産業活性化センター）の活用

新たな価値を持つ新商品・新サービス等

《成果例》



介護食に使える、野菜の栄養が摂れる「野菜麩」の開発



農業者とタクシー会社等が連携した食育ツアーの実施

など

